

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040102-08-00
基本事業：	02	生活習慣の改善	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	週2回以上運動をする市民の割合 定期的に歯科検診を受けている市民の割合 喫煙している市民の割合 睡眠・休養がとれている市民の割合		担当課	健康推進課
			担当係	健康推進担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成08年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		心の悩みを抱えている人への適切な対応ができるゲートキーパーを養成し、自殺予防対策の充実を図る。また、心の健康づくりに関する正しい知識の啓発を行う。 精神科医師等による講演「心の健康づくり」（H13~） ゲートキーパー養成（H30：未実施）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		生活習慣病予防や歯科保健に関する正しい知識の普及・啓発を図るために医師・保健師・歯科衛生士等による健康教育を実施する。 歯科教室：歯科衛生士による講話とブラッシング指導（H8~） 講師派遣事業・健康相談事業 福岡県地域自殺対策強化交付金：38千円				
心の健康づくりに関する正しい知識の普及を行うことにより、ストレスへの適切な対処や心の悩みを抱えている人への対応ができる人を増やす。生活習慣病の予防、健康増進等健康に関する正しい知識の普及を行うことにより、生活習慣改善に取り組む人の増加を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
心の健康づくり講演会参加者数	人	74	54	100	100			200
歯科教室参加者数	人	63	202	100	100			300

5. コスト								
事業費	計	千円	205	84	180	179		
	国	千円			0	0		
	県	千円	47	38	47	47		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円			0	0		
一般	千円	158	46	133	132			
正職員人工数	人工	0.4	0.4	0.4				
正職員人件費	千円	3,198	3,236	3,226				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	3,403	3,320	3,406	179			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	< 状況 > 講演会参加者は昨年度より20人減少して54人、教室参加者数は昨年度より139人増加し202人となっています。							
どちらかといえばあがっている	< 原因 > 歯科教室は希望する団体へ講師を派遣して開催していますが、昨年度はシルバー人材センターの会員を対象に講座を行ったことで実績が伸びました。							
あがっていない（停滞・低下）	< 課題 > 平成31年3月に策定した「自殺対策計画」に併せて、ゲートキーパーの養成等啓発を行い自殺の予防に向けた意識の高揚を図る必要があります。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	ゲートキーパー養成については、本年度は民生委員児童委員を対象に実施します。また、市職員に対しても自殺対策推進会議担当者を中心に職員への啓発等進めてもらう予定としています。 歯科教室については、今後も広く市民に周知を行っていきます。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

<ul style="list-style-type: none"> 20～40歳代の歯科検診受診率が低く、市の成人歯科検診受診者の8割が要治療者であることから、歯科保健のさらなる普及啓発を教室にこだわらず、他事業でチラシ配布等を強化し、成人歯科検診の受診率向上に努めます。 	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
<ul style="list-style-type: none"> 歯科教室は口腔衛生向上を図るため、平成8年度から実施。 精神保健法（第46条正しい知識の普及）により、市民の精神的な健康の保持増進に向けて平成13年度より講演会を開催。 	